

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

REGZA

レグザブルーレイ

東芝ブルーレイディスクレコーダー取扱説明書

形名 **DBR-E507**



ネットdeナビ編

はじめに

2

接続・設定

4

操作する

15

ルームトウシバ
お客様登録サービス「Room1048」に登録をお願いします！

Room1048は東芝デジタル商品のお客様登録サービス[※]です。
ご登録いただくと、さまざまなサービスやサポートが受けられます。
※ お客様登録は、Web限定のサービスです。

>>>ご登録はこちらから！<<<

<http://toshibadirect.jp/room1048/>

キャンペーン情報も
こちらをご覧ください。

- ❖ 電源を「入」にしたとき
電源を入れたあと、画面が表示されるまでに少し時間がかかりますが、そのままお待ちください。
- ❖ 本機の操作で「わからない」「困った！」「そんなときは…」
「困ったときは」取扱説明書 242ページ、「総合さくいん・用語解説」取扱説明書 268ページをご覧ください。
- ❖ 必ず最初に「安全上のご注意」取扱説明書 16ページ～19ページをご覧ください。
- ❖ 本書ではネットdeナビの「接続」「設定」「操作」などについて説明しています。
- ❖ このたびは東芝ブルーレイディスクレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのブルーレイディスクレコーダーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

はじめに **2**

ネット de ナビについて.....	3
ネット de ナビでできること.....	3

接続・設定 **4**

ネットワークとつなぐ.....	4
LAN ケーブルを使って接続する.....	4
無線 LAN で接続する.....	4
設定する.....	7
本機のネットワーク接続設定をする.....	7
本機のネットワーク連携設定をする.....	11
パソコンの設定をする.....	12
宅外でネット de ナビをつかう.....	13
宅外からのネット de ナビでできること.....	13
宅外でネット de ナビをつかう前に.....	13
宅外でネット de ナビをつかうための設定をする.....	14

操作する **15**

起動する.....	15
メインメニューについて.....	15
録画予約一覧をつかう.....	16
録画予約／変更／削除をする.....	16
録画リストをつかう.....	18
番組詳細を見る.....	19
番組詳細の内容を変更する.....	19
レコーダーで再生する.....	19
番組を削除する.....	19
フォルダ設定をする.....	20
フォルダを作成する.....	20
フォルダを解体する.....	20
フォルダ名を変更する.....	20
番組表をつかう.....	21
番組表から予約する.....	21
ネット de ナビ設定をつかう.....	22
本機の情報.....	22
メールの設定.....	23
e メールで録画予約する.....	24

ネットdeナビについて

「ネットdeナビ」とは、パソコンのWeb画面やタブレット・スマートフォンのアプリケーションで本機の操作や設定などができる機能です。

本機では、パソコンやタブレット・スマートフォンで、録画予約一覧から新規予約をしたり、予約の確認ができます。録画リストからは番組情報を見たり、レコーダーでの再生ができます。フォルダ設定では、フォルダの作成、解体、変更ができます。ブロードバンド常時接続の環境であれば外出先から、タブレット・スマートフォンのアプリケーションや、eメールで録画予約ができます。

ネットdeナビでできること



録画予約



- 宅内では、パソコンの操作、タブレット・スマートフォンのアプリケーションでの操作、またはeメールを使って録画予約ができます。
- 外出先から、タブレット・スマートフォンのアプリケーションでの操作や、eメールを使って録画予約ができます。

宅外ネットdeナビ機能に対応しているアプリは2016年11月現在「DiXiM Play Android版、DiXiM Play iOS版」(利用料有料)です。

DiXiM Playの動作環境に関しては、以下のホームページをご覧ください。

- DiXiM Play Android版
<http://www.digion.com/diximplay/android/>
- DiXiM Play iOS版
<http://www.digion.com/diximplay/ios/>

DiXiM Playのご利用料金に関しては、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.digion.com/diximplay/>

本機に関する最新情報は、当社ホームページをご覧ください。

http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/



レコーダーで再生

- パソコンやタブレット・スマートフォンで、録画リストから番組をレコーダーで再生できます。



番組編集

- パソコンやタブレット・スマートフォンで、番組名・フォルダ・チャプター名の編集や番組の削除ができます。



フォルダ設定

- パソコンやタブレット・スマートフォンで、フォルダの作成や解体、またはフォルダ名を変更できます。

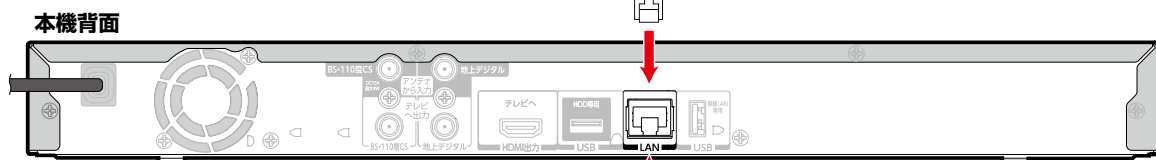
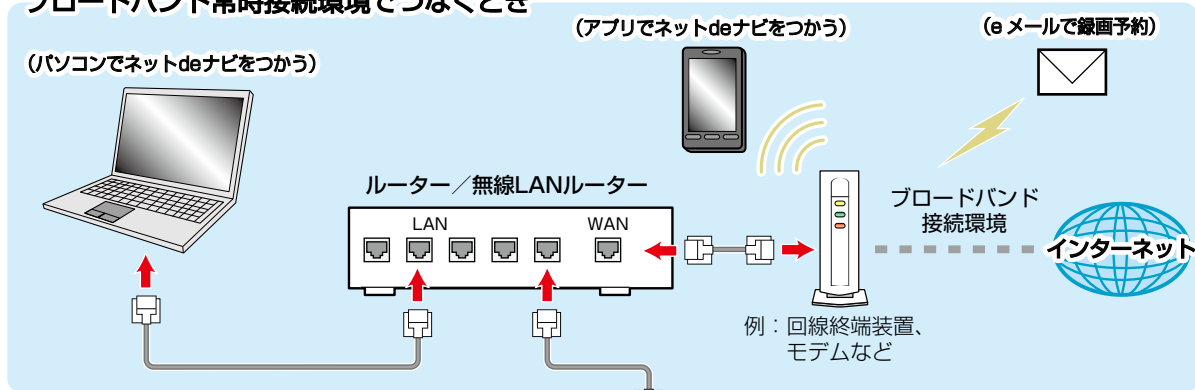
ネットワークとつなぐ

用途やお客様のネットワーク環境によって、接続や設定方法が異なります。下図を確認しながら接続や設定をしてください。

パソコンからは、直接LANケーブルで本機に接続する、もしくはブロードバンド常時接続環境が必要です。アプリやeメールからは、ブロードバンド常時接続環境が必要です。

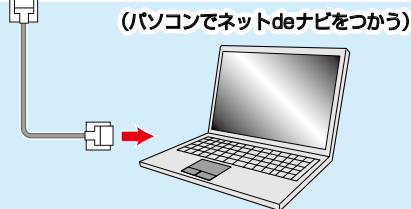
LANケーブルを使って接続する

ブロードバンド常時接続環境でつなぐとき



本機とパソコンをLANケーブルで直接つなぐとき

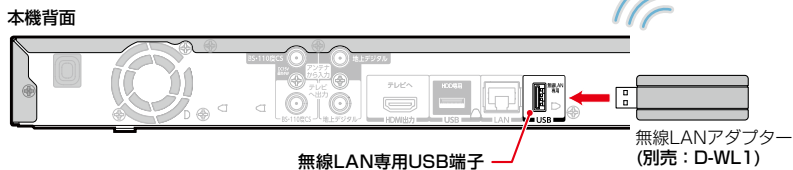
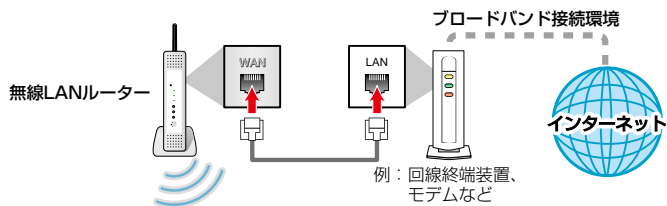
ブロードバンド常時接続環境がない場合は、本機とパソコンをLANケーブルで直接つないでください。



無線LANで接続する

東芝の無線LANアダプターをつかうと無線LANでネットワークに接続できます。

- ブロードバンド常時接続の環境であれば外出先から、タブレットやスマートフォンのアプリケーション、eメールで録画予約などができます。



- ※ 2.4GHz帯の機器(電子レンジなど)をお使いの場合、無線LANの通信が途切れることがあります。
- ※ 5GHz帯に対応した無線LANルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。



● 東芝の無線LANアダプター(別売：D-WL1)以外は使用できません。

ネットワーク接続環境

- 動作環境は、予告なく変更される場合があります。また、すべての動作を保証するものではありません。
- 本機に関する最新情報は、当社ホームページでご確認ください。

http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

- 本機は、公衆無線LAN接続には対応していません。

ネットdeナビ機能に必要な動作環境
パソコン DOS/V 互換パソコン(LANコネクタが必要)(市販品) OS : Windows® 7/8/8.1/10(日本語版) 上記のOS以外の環境での動作は保証していません。 カラーモニター : 16ビットカラー以上、 800×600ドット以上 必要なデバイス : LANポート (100Base-TX/10Base-T)
スマートフォン・タブレット DiXiM Play Android版、DiXiM Play iOS版が動作する スマートフォン・タブレット(Android/iOS)*
WWWブラウザ Internet Explorer 11 Microsoft Edge Google Chrome

※ 動作環境に関しては、以下のホームページでご確認ください。

- DiXiM Play Android版
<http://www.digion.com/diximplay/android/>
- DiXiM Play iOS版
<http://www.digion.com/diximplay/ios/>

上記以降のバージョンについては、すべての動作を保証するものではありません。

ネットdeナビ機能の「番組表機能」、「メール録画予約機能」をご使用になる場合には、以下の環境が必要です。

- ブロードバンド常時接続環境
- 設置場所からパソコンで送受信可能なeメールアカウント(POPサーバーおよびSMTPサーバーを使用したサービス)〔「メール録画予約機能」使用時〕
- ハブ機能を持ったブロードバンドルーター(DHCP機能搭載を推奨)
- 無線LANアダプター(別売 : D-WL1)
無線LANルーター(無線LAN接続の場合)

用語と商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edgeは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows® 7...Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
- Windows® 8...Microsoft® Windows® 8 operating system 日本語版
- Windows® 8.1...Microsoft® Windows® 8.1 operating system 日本語版
- Windows® 10...Microsoft® Windows® 10 operating system 日本語版

- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- Google Chrome、Androidは、Google Inc.の登録商標です。
- 本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。
- DLNA®およびDLNA CERTIFIED™はDigital Living Network Alliance®の商標です。
- DiXiMは、株式会社デジオンの登録商標です。

制限事項

- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- 本機の通信機能は、米国電気電子技術協会IEEE802.3に準拠しています。
- 本機の状態、またはネットdeナビ機能での本機とパソコン間の通信状態によっては、表示が遅くなったり、最新の状態ではなかったり、表示や通信にエラーが発生することがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- プロバイダー(インターネット接続事業者)側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でご負担ください。
- プロバイダー指定の回線接続機器(ADSLモデムなど)に、100Base-TX/10Base-TのLANポートがない場合は接続できません。
- ADSLをご利用いただくには、ADSLモデムが必要です。通信事業者やプロバイダーが採用している接続の方式や契約の約款などによっては、本製品をご利用いただけない場合や同時接続する台数に制限や条件がある場合があります。(契約が1台に制限される場合、すでに接続されているパソコンがあると、本機を2台目として接続することが認められていないことがあります。)
- プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。詳しくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
- ハブやルーターを利用してブロードバンド常時接続のパソコンと接続する場合は、カテゴリ5(CAT5)と表示された規格以上のLANケーブル(ストレート)をご使用ください。
- 直接本機とパソコンを接続する場合は、市販のLANケーブル(ストレートまたはクロス)をご使用ください。
- セキュリティソフトウェア自体やその設定によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 利用制限のされていない無線LANネットワークには接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされる恐れがあります。
- 本機とハブやルーターとの接続には別途、市販のLANケーブル(ストレート)をご用意ください。
- 「メール録画予約機能」をご利用になるには、POP3またはAPOPに対応したご家庭から接続可能なeメールのアカウントが別途必要です。携帯電話などのメールアドレスのように、ご家庭のパソコンからアクセスできないeメールのアカウントはご利用になれません。

ネットワークとつながり・つづき

- 本機がネットワーク経由でインターネットサービスプロバイダーのメールサーバーにアクセスできるよう、常時接続されている必要があります。
- 「メール録画予約機能」を利用する場合、パソコンの電源を入れておく必要はありません。
- パソコンの設定は、メールのコピーを一定期間メールサーバーに保存する設定にしてください。メールを受信したときサーバーにコピーを残さず自動削除する設定ですと、本機で予約メールを受信できないことがあります。
- 携帯電話からのメール予約には、インターネットメールを使用してください。ショートメールのような携帯電話間だけのメール機能では使用できません。
- ポータルサイトのwebメール(POP3対応していない)はメール予約の設定には使用できません。(録画予約完了通知のアドレスには設定できます。)
- 宅外でネットdeナビ機能を利用する場合、本機をFTTH(光ファイバー)回線などでブロードバンド常時接続環境につなぐ必要があります。ブロードバンド常時接続環境につなぐには、プロバイダーおよび回線事業者と別途ご契約(有料)する必要があります。詳しくは、プロバイダーまたは回線事業者にお問い合わせください。(プロバイダーまたは回線事業者が採用している接続の方式や契約の約款などによっては、ご利用いただけない場合があります。)
- 番組一覧や番組詳細、フォルダ名などで、表示する[]などの記号が類似記号で表示される場合があります。
- ネットdeナビで更新をすると、本体で[]などの類似記号で表示される場合があります。
- BDMVディスクの再生中は、ネットdeナビの操作ができません。

免責事項

- 本機機能によって接続した機器に通信障害などの不具合が生じた場合の結果について、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続できない場合、当社は一切責任を負いません。
- 火災、地震、雷など自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機能の使用または使用不能から生ずる付随的な障害(事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失、インターネット契約料金・通信費用の損失など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書および本書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器、使用されるソフトウェアとの組み合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

- 本機能を使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断など)に対して、当社は一切の責任を負いません。
- ネットdeナビのサービスは、予告なく一時停止したり、サービス自体が終了されたり、内容が変更されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

すでにブロードバンド常時接続環境をお持ちの場合は

- 次のことをご確認ください。
 - 回線事業者やプロバイダーとの契約内容と事項
 - 必要な機器の準備
 - ADSLモデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定
- 回線の種類や回線事業者、プロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。ADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線事業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブに付属の取扱説明書もあわせてお読みください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムなどの設定はできません。パソコンなどで設定が必要な場合があります。
- ADSL回線をご利用の場合は
 - ブリッジ型ADSLモデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター(市販)が必要です。
 - USB接続のADSLモデムなどをお使いの場合は、ADSL事業者にご相談ください。
 - プロバイダーや回線事業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
 - ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL事業者やプロバイダーにお問い合わせください。
 - ADSLの接続については専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。
- FTTH(光ファイバー)回線をご利用の場合は
 - 接続方法などご不明な点については、プロバイダーや回線事業者へお問い合わせください。


ブロードバンド常時接続環境をお持ちでない場合は

プロバイダーおよび回線事業者と別途ご契約(有料)する必要があります。詳しくは、プロバイダーまたは回線事業者にお問い合わせください。



- LANケーブルは、カテゴリ5以上対応のストレートケーブルをご使用ください。



- LAN接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LANケーブルと同軸ケーブルを離してみてください。
- ブロードバンドルーターなどの設定で本機のMACアドレスが必要な場合は、を押して、【設定】⇒【本体設定】⇒【ネットワーク設定】⇒【ネットワークステータス表示】画面で確認できます。

設定する

本機のネットワーク接続設定をする

ネットワーク機能を利用するためには、あらかじめインターネットサービスプロバイダーなどとの契約と、ブロードバンド常時接続の環境に本機をつなぐことが必要です。

- 本機とDLNA対応機器などを直接LANケーブルで接続する場合は、インターネットサービスプロバイダーなどとの契約は不要です。

1 **設定** を押して、▲・▼・◀・▶で【設定】→【本体設定】を選んで **決定** を押す

2 ▲・▼・◀・▶で【ネットワーク設定】→【ネットワーク接続設定】を選んで **決定** を押す

3 ▲・▼で【有線LAN】または【無線LAN】を選んで **決定** を押す

無線LANで接続しているときは

【無線LAN】を選んで、「【無線LAN】を設定する」**9**の手順**3**へ進んでください。

LANケーブルで接続しているときは

【有線LAN】を選んで、▲・▼で【インターネットに接続する】または【本機とTVなどの機器をLANケーブルで直接つなぐ】を選んで **決定** を押してから、以下の設定を行ってください。

- 【インターネットに接続する】を選んだときは、ブロードバンド常時接続環境でつなぐ必要があります。詳しくは、**4**をご覧ください。
- 【本機とTVなどの機器をLANケーブルで直接つなぐ】を選んだときは、本機と機器をLANケーブルで直接つなぐ必要があります。詳しくは、**4**をご覧ください。

自動設定：本ページ「【有線LAN】を自動で設定する」の手順**1**へ進んでください。

手動設定：【手動設定】を選ぶと、各項目が表示されます。画面に従って、各項目を設定してください。**8**

【有線LAN】を自動で設定する

【ネットワーク接続設定】の各項目を自動で設定し、接続テストを行います。また、既に設定していた場合は、設定値が自動設定で取得した値に更新されます。(このときプロキシの設定はクリアされます。)

1 ▲・▼で【自動設定】を選んで **決定** を押す



- 自動的に各項目が設定され、有線LANの設定が完了します。
- 確認画面が表示されるので、**決定** を押してください。
- 設定が終わったら、**完了** を押してください。



- 【有線LAN】と【無線LAN】は同時に利用できません。
- LANケーブルで接続して【ネットワーク接続設定】の各設定を【手動設定】で変更した際は、必ず接続テストを行ってください。

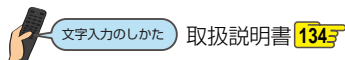
設定する・つづき

【有線LAN】を手動で設定する

1

▲・▼で【手動設定】を選んで決定を押す

- 設定一覧が表示されるので、それぞれの項目を▲・▼で選んで決定を押してください。



IPアドレス取得方法

ネットワークで本機を識別するための固有の番号を設定します。

1 ▲・▼で【IPアドレス取得方法】を選んで決定を押す

2 ▲・▼で設定方法を選んで決定を押す

- ルーターにDHCP機能がない場合などは、【手動】を選んで設定してください。

【自動(DHCP)]を選んだときは

DHCP機能を使って自動的にIPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイを設定します。

【手動】を選んだときは

以下の項目に数値を入力してください。

IPアドレス: パソコンに設定されているIPアドレスの最後の2けたを、お好みの数値に変更したものを入力してください。(3けたまで入力可能です。)

サブネットマスク: パソコンと同じ数値を入力してください。

デフォルトゲートウェイ: パソコンと同じ数値を入力してください。

DNS-IP取得方法

IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

1 ▲・▼で【DNS-IP取得方法】を選んで決定を押す

2 ▲・▼で設定方法を選んで決定を押す

【自動(DHCP)]を選んだときは

DHCP機能を使って自動的にプライマリDNS/セカンダリDNSを設定します。

【手動】を選んだときは

以下の項目に数値を入力してください。

プライマリDNS: パソコンの優先DNSサーバーと同じ数値を入力してください。

セカンダリDNS: パソコンの代替DNSサーバーと同じ数値を入力してください。

プロキシ設定

本機をブロードバンド常時接続環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときは、プロキシ設定してください。

1 ▲・▼で【プロキシ設定】を選んで決定を押す

2 ▲・▼で設定方法を選んで決定を押す

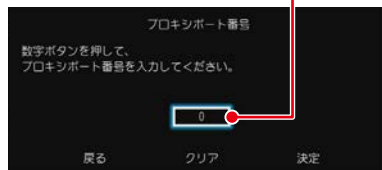
【有効】を選んだときは

プロキシアドレスとプロキシポート番号を入力してください。

プロキシアドレスを入力する



プロキシポート番号を入力する



- 設定が終わったら、手順2へ進んでください。

【無効】を選んだときは

手順2へ進んでください。

2

▲・▼で【接続テスト】を選んで決定を押す

- 確認画面が表示されるので、決定を押してください。

3

【手動設定】ですべての設定が終わったら、

▶で【決定】を選んで決定を押す

- 設定が終わったら、終了を押してください。

接続テストでエラーメッセージが表示されたときは

画面の指示に従ってネットワークの設定をし直してください。




- パソコンに設定されている「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「プライマリDNS」、「セカンダリDNS」の確認方法については、123の1~2または、ご使用のパソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

【無線LAN】を設定する

- 本機背面の無線LAN専用USB端子に接続する無線LANアダプターは、東芝の無線LANアダプター（別売：D-WL1）をお使いください。
- 無線LANをお使いになるときは、セキュリティなどで暗号化してお使いください。暗号化していないと、第三者に不正アクセスされ情報漏えいの恐れがあります。
- 無線LANネットワークのセキュリティを設定していない場合、以下の機能はお使いになれません。
 - ・ ネットdeナビ、eメールでの録画予約、ネットdeレック、ネットdeサーバーHD、ネットワーク連携
- 無線LANネットワークのセキュリティレベルが低い場合(WEP)、eメールでの録画予約機能はお使いになれません。

1  を押して、▲・▼・◀・▶で【設定】→【本体設定】を選んで  を押す

2 ▲・▼・◀・▶で【ネットワーク設定】→【ネットワーク接続設定】→【無線LAN】を選んで  を押す

3 ▲・▼で設定方法を選んで  を押す






文字入力のしかた


取扱説明書 134

【無線LAN自動検出】


本機が利用可能な無線LANアクセスポイントを検出して、設定します。

- 1 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を ▲・▼ で選んで  を押す
- 2 セキュリティキーを入力し、 を押す
 - ・ 確認画面が表示されるので、▲・▼ で【次へ】を選んで  を押してください。
- 3 設定モードを選ぶ

【自動設定】を選んだときは





【ネットワーク接続設定】の各項目を自動で設定し、接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されるので  を押してください。

【手動設定】を選んだときは


IPアドレス、DNS-IP、プロキシを設定してください。詳しくは、「【無線LAN】を手動で設定する」 をご覧ください。

【手動接続設定】


各項目を手動で設定します。

- 1 SSIDを入力して、 を押す
- 2 ▲・▼でセキュリティを選んで  を押す
- 3 セキュリティキーを入力し、 を押す
 - ・ 確認画面が表示されるので、▲・▼ で【次へ】を選んで  を押してください。
- 4 設定モードを選ぶ

【自動設定】を選んだときは

【ネットワーク接続設定】の各項目を自動で設定し、接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されるので  を押してください。

【手動設定】を選んだときは

IPアドレス、DNS-IP、プロキシを設定してください。詳しくは、「【無線LAN】を手動で設定する」 をご覧ください。



- インターネット環境が必要になります。

設定する・つづき

【かんたん接続設定(WPS)】

プッシュボタン方式またはPINコード方式でかんたんに無線LANを設定できます。

▲・▼で【プッシュボタン方式(PBC)】または【PINコード方式】を選んで **決定** を押す

【プッシュボタン方式(PBC)】を選んだときは

画面の指示に従って、無線LANアクセスポイントのWPSボタンを押す

- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。
- 確認画面が表示されるので、**決定** を押してください。

【PINコード方式】を選んだときは

① 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を ▲・▼ で選んで **決定** を押す

② 表示されたPINコードを無線LANアクセスポイントやパソコンに入力する



この数字をアクセスポイントに入力する

- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。
- 確認画面が表示されるので、**決定** を押してください。

- 設定が終わったら、**終了** を押してください。



- 2.4GHz帯の機器(電子レンジなど)をお使いの場合、無線LANの通信が途切れることがあります。
- 5GHz帯に対応した無線LANルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、5GHz帯での使用をおすすめします。
- 無線LANの通信状態が良くない場合、無線LANルーター(アクセスポイント)の位置などを変更すると、通信状態が改善されることがあります。
- すべての無線LANルーター(アクセスポイント)での接続を保証するものではありません。

LANケーブルで直接つなぐ

本機と接続する機器をLANケーブルで直接つなぐときは、**LAN** を押してから、【設定】→【本体設定】→【ネットワーク設定】→【ネットワーク接続設定】→【有線LAN】→【本機とTVなどの機器をLANケーブルで直接つなぐ】→【自動設定】を選び **決定** を押してください。

- 確認画面が表示されるので、**決定** を押してください。

自動設定で接続に成功しなかった場合は、【本機とTVなどの機器をLANケーブルで直接つなぐ】→【手動設定】を選んで【IPアドレス取得方法】と【DNS-IP取得方法】を【手動】にしてから、以下の項目を設定してください

本機のネットワーク設定

項目	設定内容
IPアドレス	192.168.1.15
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
プライマリDNS	192.168.1.1

接続する機器のネットワーク設定

項目	設定内容
IPアドレス	192.168.1.20
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
プライマリDNS	192.168.1.1

上記の設定内容は一例です。

IPアドレスの一番右の値を1~254の値に設定し、本機と本機と接続する機器の値が同じ値にならないように設定してください。



- LANケーブルは、カテゴリ5以上対応のストレートケーブルをご使用ください。

本機のネットワーク連携設定をする

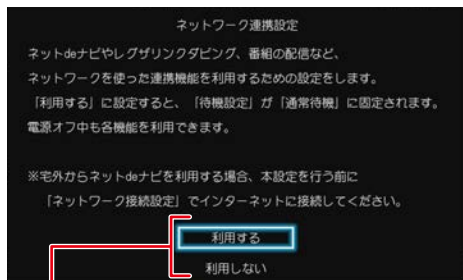
ネットワークを利用した連携機能をつかうための設定をします。

- これらの機能を利用するには、「本機のネットワーク接続設定をする」[7](#)を完了している必要があります。

1 を押して、▲・▼・◀・▶で【設定】→【本体設定】を選んで を押す

2 ▲・▼・◀・▶で【ネットワーク設定】→【ネットワーク連携設定】を選んで を押す

3 ▲・▼で【利用する】または【利用しない】を選んで を押す



利用する： ネットdeナビやレグザリンク・ダビング(取扱説明書 [160](#))、番組の配信(取扱説明書 [170](#))などのネットワークを使った連携機能を利用できます。また、利用中に本機の電源を「切」にしても、連携機能を利用できます。

利用しない： ネットワーク連携接続設定を使用しません。

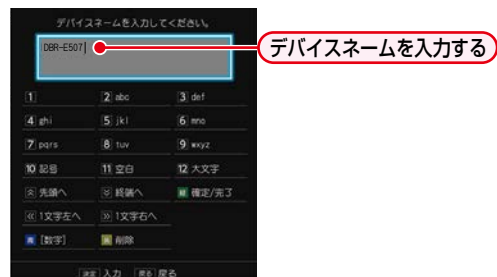
- 【利用する】を選んだ場合、引き続き以下の項目の設定を行います。

デバイス名を設定する

4 ▲・▼で【はい】を選んで を押す

- 【いいえ】を選んだ場合は、「ネットワーク連携接続を設定する」に進んでください。

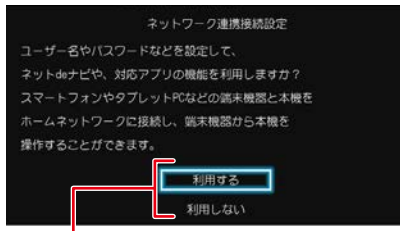
5 デバイス名を入力して、 を押す



文字入力のしかた 取扱説明書 [134](#)

ネットワーク連携接続を設定する

6 ▲・▼で【利用する】を選んで を押す

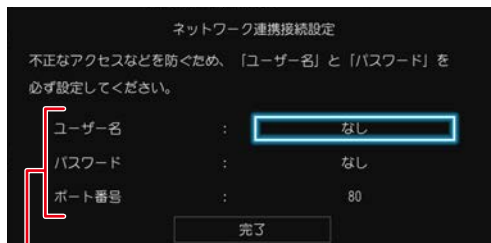


ネットdeナビ機能や対応アプリを利用するか、しないかを設定します。

- 【利用する】を選んだ場合、引き続き以下の項目の設定を行います。

7 ▲・▼で各項目を選んで を押して、それぞれの項目を設定する

- ネットdeナビや、スマートフォン、タブレットなどの端末機器と本機を接続し、本機を操作することができます。



ユーザー名： 端末機器から本機にアクセスするためのIDを設定します。

パスワード： 端末機器から本機にアクセスするためのパスワードを設定します。

ポート番号： 通常は設定を変える必要はありません。機能の一部が働かないときに、「2000」～「10000」の間で変更してください。

文字入力のしかた 取扱説明書 [134](#)

8 すべての設定が終わったら【完了】を選んで を押す

お知らせ

- ネットワーク連携設定を【利用する】に設定すると、【待機設定】が【通常待機】になります。
- パスワードは、半角で8～64文字で入力してください。

設定する・つづき

パソコンの設定をする

ネットdeナビをつかうパソコン側の設定は、OSの種類によって異なりますので、詳しくはパソコンに付属の取扱説明書をお読みください。以下は、Windows[®] 7を例に説明しています。ネットdeナビからもメール録画予約機能の設定ができます。

- eメールで録画予約したいときは、ネットdeナビを設定したあとに、「メール録画予約機能」を設定してください。
23、取扱説明書 200

ブロードバンド常時接続している場合

ブロードバンド常時接続しているパソコンと本機を接続した場合は、パソコン側の設定は必要ありません。「ネットdeナビの設定」14に進みます。

パソコンを直接接続している場合

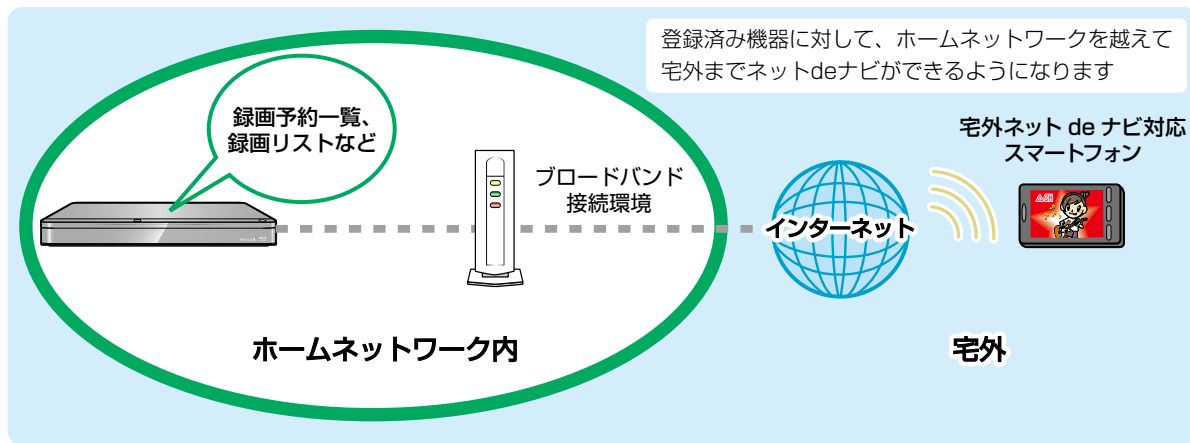
あらかじめ、パソコンで以下の設定をしてください。

- ① 「コントロールパネル」⇒「ネットワークとインターネット」⇒「ネットワークと共有センター」⇒「アダプターの設定の変更」⇒「ローカルエリア接続」の「プロパティ」をクリックする
- ② 「インターネット プロトコル バージョン4(TCP/IPv4)」をダブルクリックする
「次のIPアドレスを使う」を選んでIPアドレスとサブネットマスクを設定してください。(すでに値が設定されているときは、設定を戻せるようにその値をメモに残しておくことをおすすめします。
IPアドレス：
「192.168.1.10」を入力してください。(本機のIPアドレスとは異なるアドレスを設定します。)
サブネットマスク：
「255.255.255.0」を入力してください。
- ③ 「OK」をクリックする
- ④ 「ネットdeナビの設定」14に進む

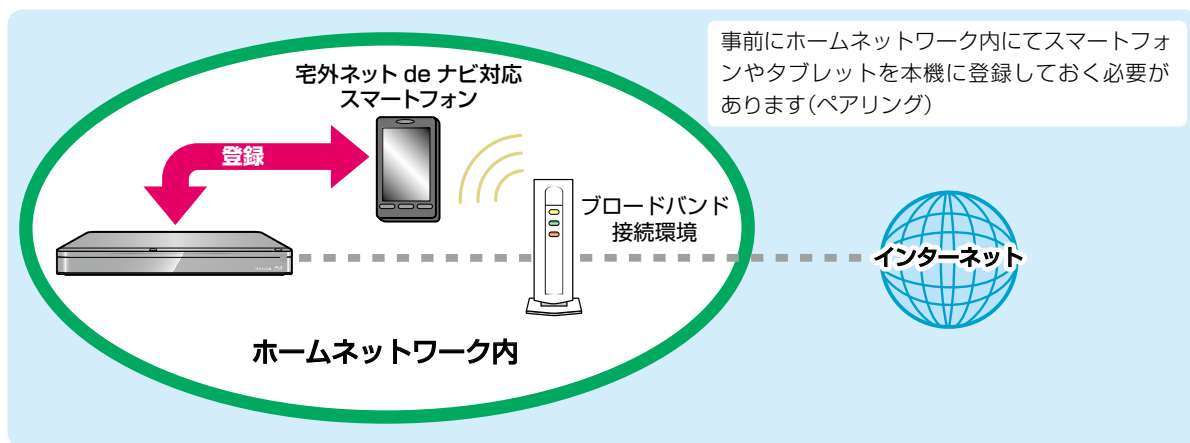
宅外でネットdeナビをつかう

スマートフォンやタブレットから宅外ネットdeナビ対応アプリを使用し、インターネットを介して外出先からでもネットdeナビの機能を利用することができます。

宅外からのネットdeナビでできること



宅外でネットdeナビをつかう前に



宅外ネットdeナビ機能に対応しているアプリは2016年11月現在「DiXiM Play Android版、DiXiM Play iOS版」(利用料有料)です。

DiXiM Playの動作環境に関しては、以下のホームページをご覧ください。

- DiXiM Play Android版
<http://www.digion.com/diximplay/android/>
- DiXiM Play iOS版
<http://www.digion.com/diximplay/ios/>

DiXiM Playのご利用料金に関しては、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.digion.com/diximplay/>

本機に関する最新情報は、当社ホームページをご覧ください。

http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/



- 外出先などから、パソコンで遠隔操作はできません。
- 宅外のネットdeナビは録画リストからのレコーダー再生はできません。

宅外でネットdeナビをつかう・つづき

宅外でネットdeナビをつかうための設定をする

スマートフォンやタブレットを本機に登録する(ペアリング)

宅外でネットdeナビをつかうためには、本機とスマートフォンやタブレットを事前に同一ホームネットワークに接続しておき、スマートフォンやタブレットを本機に登録しておく必要があります。

» 準備

- 本機とネットワークを接続しておく **4**
- ネットワークの接続設定をしておく **7**
- ネットワーク連携設定をしておく **11**
- 本機とスマートフォンやタブレットなどを同一ホームネットワークに接続しておく
- スマートフォンやタブレットに宅外ネットdeナビ対応アプリをダウンロードしてインストールしておく

1 スマートフォンやタブレットで宅外ネットdeナビ対応アプリを起動する

2 宅外ネットdeナビ対応アプリの画面に従い、本機に登録する

- 本機に対応した宅外ネットdeナビ用アプリに関する最新情報につきましては、当社ホームページでご確認ください。
http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/
- アプリ側から見た本機の表示名は、デバイス名となります。本機のデバイス名は、**スマホ**を押してから、【設定】→【本体設定】→【ネットワーク設定】→【ネットワーク連携設定】→【利用する】を選択すると、デバイス名設定画面でデバイス名が表示されます。

お知らせ

- ペアリングは最大6台まで可能です。
- すでに宅外配信用としてペアリングしてあるスマートフォンやタブレットは、宅外ネットdeナビ用としてペアリングする必要はありません。
- 再ペアリングせずに利用できる期間は3ヶ月となります。
- ペアリングした子機の登録台数とペアリング有効期間は、一般社団法人 電波産業会(ARIB)により公開された「地上デジタルテレビジョン放送運用規定ARIB TR-TR-B14(6.2改定版)」および「BS/広帯域CSデジタル放送運用規定ARIB TR-B15(7.1改定版)」に記載の「デジタル放送受信機におけるリモート視聴要件」に従っています。

宅外でネットdeナビができる端末機器を確認する

宅外でネットdeナビをつかうために本機に登録してあるスマートフォンやタブレットといった機器が宅外配信リストから確認できます。

1 **スマホ**を押して、▲・▼・◀・▶で【設定】→【本体設定】を選んで**決定**を押す

2 ▲・▼・◀・▶で【ネットワーク設定】→【宅外配信リスト】を選んで**決定**を押す

- 宅外配信リストが表示されます。ただし、1台も登録されていない場合は確認画面が表示されますので【了解】を選んで**決定**を押してください。

宅外配信リストから機器の登録を解除するには

- 1 宅外配信リストを表示中に、▲・▼で削除したい機器を選ぶ
- 2 【削除】で**決定**を押す
- 3 確認画面が表示されるので▲・▼で【はい】を選んで**決定**を押す

登録機器を全削除する

宅外配信リストから登録機器をすべて削除することができます。

1 **スマホ**を押して、▲・▼・◀・▶で【設定】→【本体設定】を選んで**決定**を押す

2 ▲・▼・◀・▶で【その他】→【初期化】→【宅外配信設定初期化】を選んで**決定**を押す

- 確認画面が表示されるので、▲・▼で【はい】を選んで**決定**を押してください。
- 登録してある機器がすべて削除されます。再度、宅外配信するには再登録が必要です。
- 機器が1台も登録されていなくても、【宅外配信設定初期化】は可能です。

起動する

ネットdeナビの設定中にブラウザの「戻る」ボタンを押さないでください。「戻る」ボタンをつかうと、設定や表示が正しく行われず場合があります。

1 パソコンや携帯端末で、ネットdeナビ対応のブラウザを起動する

2 アドレスに「http://DBR-E507」を入力して、「Enter」キーを押す

- 「ネットワーク連携接続設定」**11**でユーザー名とパスワードを設定している場合は、ユーザー名とパスワードを入力してください。

- アドレスには、お使いの機器名を入力してください。
- 上記のアドレスを入力してもネットdeナビが起動しない場合は、**戻る**を押してから、【設定】⇒【本体設定】⇒【ネットワーク設定】⇒【ネットワークステータス表示】で表示されている本機のIPアドレスを上記アドレスの代わりに入力してください。
- ネットdeナビが起動します。



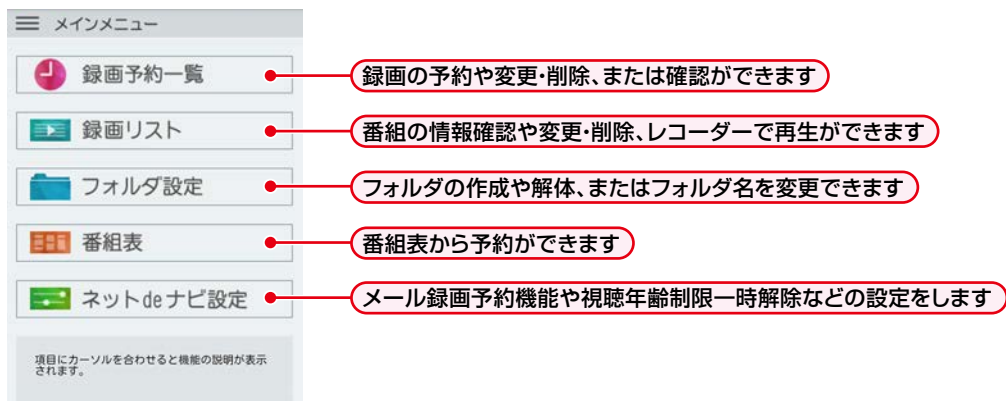
デバイス名を変更している場合

アドレスバー(http://)に続けてデバイス名を入力してください。

- デバイス名を確認するには、**戻る**を押してから、【設定】⇒【本体設定】⇒【ネットワーク設定】⇒【ネットワーク連携設定】⇒【利用する】を選択すると、デバイス名設定画面でデバイス名が表示されます。

メインメニューについて

- メニューから項目を選んでさまざまな機能をつかうことができます。



- レコーダーが使用されているとき、ネットdeナビの機能が利用できない場合があります。

録画予約一覧をつかう

録画予約一覧から録画予約を確認したり、録画予約や変更、削除をすることができます。

1 メインメニューで、【録画予約一覧】をクリックする



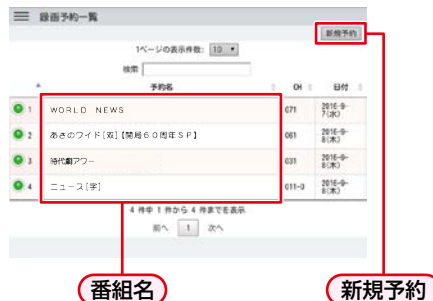
- 録画予約一覧が表示されます。レコーダー、パソコン、タブレットまたはスマートフォンで登録済みの録画予約が表示されます。

録画予約一覧の見かた



録画予約 / 変更 / 削除をする

1 録画予約一覧で、予約をしたい場合は【新規予約】を、変更や削除をしたい場合は番組名をクリックする



2 各項目をクリックして、録画予約の詳細を設定する

- 各項目については、右記をご覧ください。
- 削除したい場合は【削除】をクリックする。手順3の操作は不要です。

3 【録画予約】をクリックする



お知らせ

- 予約種別に番組指定予約を選択した場合、指定したチャンネル・時間に放送されている番組を判別して録画します。ただし、指定した番組と異なる番組が録画される場合があります。
- 予約名が空欄の場合、自動で番組名が予約名として登録されます。

録画予約の設定項目

設定または変更できる項目は、録画予約の設定により異なります。

- スキップ：** 実行／スキップを設定します。
- 予約種別：** 番組指定予約／日時指定予約を設定します。
- 予約名：** 予約名を設定します。
- CH：** 放送の種別とチャンネル番号を設定します。
- マルチCH表示：** チェックを入れるとチャンネル番号選択欄に、全チャンネルのマルチチャンネルを表示します。
- 録画日：** 単発予約／毎予約を設定します。
単発予約欄で日付、毎予約では毎週・毎日予約の設定ができます。
- 時間：** 録画予約の開始時刻と終了時刻を設定します。
- 録画先：** 録画するメディアを設定します。
- フォルダ：** フォルダの設定または作成をします。
- 録画モード：** 録画品質(録画モード、画質)を設定します。
DR： 設定項目なし
AVC： AF～AE、自動(HD4.7GB～50GB)*
標準： XP～EP、自動(標準4.7GB)*
※録画先が【BD】の場合、【自動】のみ表示します。
- 持出設定：** しない／スマホ持ち出し／DVD持ち出し(VR)／SeeQVault対応SDカード転送を設定します。



- 録画先が【BD】の場合、フォルダ設定と持出設定はできません。
- 録画先が【USB】の場合、録画モードで標準画質を設定できません。
- ネットdeナビでは、【録画先】を変更した場合、【録画モード】が【DR】になります。
- ネットdeナビで予約登録する場合、以下の条件で【録画モード】が自動的に【DR】になります。
 - ・【録画先】が【HDD】で、【録画モード】が【XP】～【EP】のとき、【持出設定】を【しない】以外に設定した場合
- ネットdeナビの予約登録では、【バックアップ設定】はできません。本体側で設定してください。

録画リストをつかう

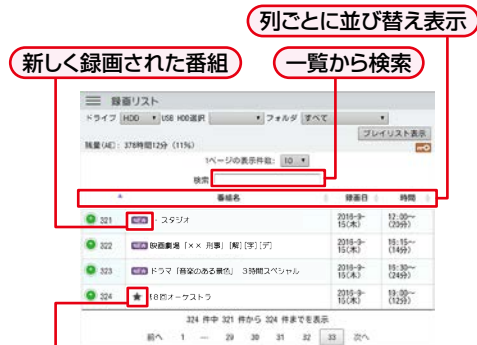
録画番組の一覧を見たり、番組詳細内容の確認・変更や番組を削除することができます。また、レコーダーで番組を再生することもできます。

1 メインメニューで、【録画リスト】をクリックする

- ドライブに表示されているメディアに記録されている番組が一覧表示されます。



録画リスト画面の見かた



おまかせ自動録画された番組

録画番組・プレイリスト表示を切り換えます

表示したいフォルダを切り換えます

ドライブでUSB-HDDを選択し、表示したい録画リストのUSB-HDDを切り換えます



番組詳細を見る

- 1 録画リストで、番組詳細を見たい番組名をクリックする
番組の詳細とチャプターの一覧が表示されます。

番組詳細の内容を変更する

- 1 録画リストで、変更したい番組名をクリックする
番組の詳細とチャプターの一覧が表示されます。
- 2 **【編集】**をクリックする
番組名： 録画した番組に好きな名前をつけることができます。
フォルダ： チェックを入れたフォルダに番組を振り分け・解除することができます。
チャプター名： チャプターに好きな名前をつけることができます。
- 3 設定が終わったら**【保存】**をクリックする
番組詳細の内容が変更されます。
【保存】をクリックせずに**【キャンセル】**をクリックすると、設定内容は変更されません。



保存

レコーダーで再生する

- 1 レコーダーで再生したい番組の**【番組名】**をクリックする
番組の詳細とチャプターの一覧が表示されます。
- 2 **【再生】**をクリックする
レコーダーで番組が再生されます。再生されると**【再生】**ボタンが**【停止】**ボタンに変わるので、停止したい場合は**【停止】**をクリックしてください。



- レコーダーにてレジュームポイントが記憶されている場合、レジュームポイントから再生が始まります。
- レコーダーにて再生コースが記憶されている場合、記憶された再生コースで再生されます。
- 宅外では再生できません。

番組を削除する

- 1 削除したい**【番組名】**をクリックする
- 2 **【削除】**をクリックする
確認画面が表示されるので**【了解】**をクリックしてください。



- ネットdeナビでは、録画リストで「スマホ持ち出し番組」「DVD持ち出し(VR)番組」は表示できません。
- ネットdeナビで**【ドライブ】**選択できるのは、以下のみです。
 - HDD
 - USB-HDD
 - ディスク
- ネットdeナビでは、録画リストで以下の場合、**【ドライブ】**にUSB-HDDまたはディスクは表示されません。
 - USB-HDDが接続されていない、または認識できない
 - ディスクが入っていない、または認識できない
- 本機が電源「切」時、**【USB-HDD】**や**【ディスク】**が表示されない場合があります。この場合はネットdeナビ画面の再表示を行ってください。
- チャプター名は全角で最大40文字、半角で最大80文字まで入力できます。
- ネットdeナビでは、録画中番組の追っかけ再生はできません。

フォルダ設定をする

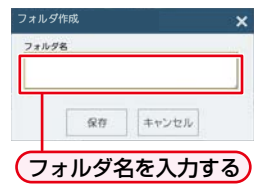
フォルダの作成や解体、フォルダ名を変更をすることができます。

- 1 メインメニューで、【フォルダ設定】をクリックする
 - 【ドライブ】に表示されているメディアのフォルダが一覧表示されます。



フォルダを作成する

- 1 【新規フォルダ作成】をクリックする
- 2 【フォルダ名】を入力する



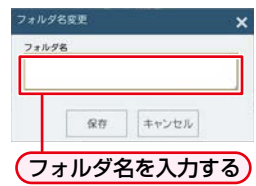
- 3 【保存】をクリックする

フォルダを解体する

- 1 解体したいフォルダの【フォルダ解体】をクリックする
- 2 確認画面で【了解】をクリックする

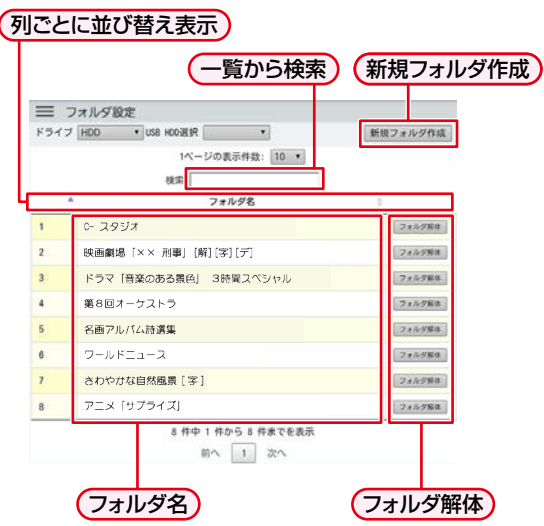
フォルダ名を変更する

- 1 変更したいフォルダをクリックする
- 2 【フォルダ名】を入力する



- 3 【保存】をクリックする

フォルダ設定画面の見かた



操作する

- ご注意**
- ネットdeナビでは、フォルダ設定で以下の場合、【ドライブ】にUSB-HDDまたはディスクは表示されません。
 - USB-HDDが接続されていない、または認識できない
 - ディスクが入っていない、または認識できない
 - フォルダを解体するとフォルダ設定からは、そのフォルダがなくなり、フォルダ内の番組は、【すべて】フォルダに残ります。

番組表をつかう

番組表を見ることができ、予約することができます。

1 メインメニューで、【番組表】をクリックする

- 【番組表】が表示され、日にち・時間・放送種別・地域を選ぶと指定された番組表が表示されます。



番組表の見かた

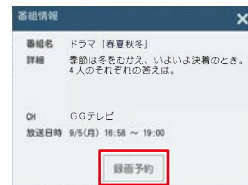


番組表から予約する

1 予約したい番組を選ぶ

- 日にち： 表示したい日にちを選択できます。
- 時間： 選択した時間から4時間の番組表を表示します。
- 放送種別： 地デジ、BS、CSが選択できます。
- 地域： レコーダーの【はじめての設定】で選択した地域名が表示されます。別の地域も選択できます。

2 予約確認が出るため【録画予約】ボタンをクリックする



3 予約番組情報内容が表示されるので【録画予約】をクリックする



- 設定する項目について詳しくは、**17**をご覧ください。

注意

- パソコンとレコーダーを直接LAN接続した場合や、インターネットに接続していない環境の場合、番組表をつかうことはできません。
- 番組表の表示が正しくない場合は、画面更新(リロード)を何度か行ってください。
- ネットdeナビでは、本体と同じ地域設定をしないと、正しい番組表が表示されません。
- ネットdeナビでは、番組表で以下のように表示されないチャンネルがあります。
 - 放送大学
 - ケーブルテレビのローカルコミュニティチャンネルなど
- ネットdeナビの番組表では、本体の【はじめての設定】で登録した地域以外のローカル局は表示できません。ただし、複数の地域ローカル局を受信できる環境に本体が設置されている場合は、表示したいローカル局の地域をネットdeナビで選択すると、番組表に表示できます。
- レコーダーの番組表と、ネットdeナビの番組表の内容が状況によって一致しない場合があります。

ネットdeナビ設定をつかう

ネットdeナビ設定を見ることができ、視聴年齢制限の一時解除や、メール設定をすることができます。

1 メインメニューで、【ネットdeナビ設定】をクリックする

- 【ネットdeナビ設定】画面が表示されます。本機の情報やメール設定の情報が表示されます。



メール録画予約機能などの設定をします。

ネットdeナビ設定の見かた

視聴年齢制限設定

メール録画予約機能設定



本機の情報

形名	形名を表示します。
デバイスネーム	デバイスネームを表示します。
MACアドレス	MACアドレスを表示します。

視聴年齢制限のある番組を見たい場合は、視聴年齢制限設定を一時解除を行います。

- 1 【視聴年齢制限一時解除】ボタンをクリックする
- 2 パスワード入力し、【保存】をクリックする。
 - 確認画面が表示されるので、【了解】をクリックしてください。
 - 一時解除が行われて、録画リストに鍵アイコンが非表示になります。

視聴年齢制限設定

視聴年齢制限設定を視聴年齢制限状態に戻す場合。

- 1 【視聴年齢制限に戻す】ボタンをクリックする
 - 確認画面が表示されるので、【了解】をクリックしてください。
 - 視聴年齢制限状態になり、録画リストに鍵アイコンが表示されます。

メールの設定

1 【メール録画予約機能】を設定する

- 以下の「メール録画予約機能の設定」をご覧ください。

2 設定が終わったら、【登録】をクリックする

- 確認画面が表示されるので、【了解】をクリックしてください。

メール録画予約機能の設定

メール録画予約機能	メール録画予約機能を利用するかどうかを設定します。
メール予約パスワード	予約メールとして判別するためのパスワードを設定します。
POP3 サーバアドレス	ご利用のプロバイダーのPOP3サーバアドレスを設定します。
POP3 ユーザー名	ご利用のプロバイダーのPOP3サーバにアクセスするときのユーザー名を設定します。
POP3 パスワード	ご利用のプロバイダーのPOP3サーバにアクセスするときのパスワードを設定します。
APOP	APOPをつかうかどうかを設定します。
POP3 アクセス間隔	5～120分の間で設定します。
メール録画予約時アドレスフィルタリング	予約メールのフィルタリングをするかしないかを設定します。
フィルタアドレス	フィルタリングで受け付ける予約メールのアドレスを設定します。 【メール録画予約時アドレスフィルタリング】が【利用する】のときのみ有効です。
メール通知機能	メール録画予約が完了したときの通知方法を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 「指定アドレスへ通知」： 「メール通知用の指定アドレス」で設定したアドレスへメールで通知します。 「送信元アドレスへ通知」： メール録画予約に使用したアドレスへメールで通知します。 「指定アドレスと送信元アドレスへ通知」： 両方のアドレスへメールで通知します。
失敗しそうな予約の通知	録画に失敗しそうな予約をメールで知らせるかどうかを設定します。 (本機能は目安です。失敗しそうな予約すべてをお知らせするものではありません。)
おまかせ自動予約の通知	「おまかせ自動録画」の録画予約をメールで知らせるかどうかを設定します。

SMTPサーバアドレス	SMTPサーバのアドレスを設定します。
SMTPサーバポート番号	SMTPサーバのポート番号を設定します。
SMTP サーバ認証	SMTPサーバの認証方法を設定します。
SMTP ユーザー名	SMTPサーバのユーザー名を設定します。【SMTPサーバ認証】が【ユーザー設定】のときのみ有効です。
SMTP パスワード	SMTPサーバのパスワードを設定します。【SMTPサーバ認証】が【ユーザー設定】のときのみ有効です。
メールアドレス	プロバイダーのメールサービスのメールアドレスを設定します。
メール通知用の指定アドレス	メール録画予約の完了をお知らせするメールアドレスを設定します。



- ご利用のプロバイダーによっては、メール予約ができない場合があります。
- ルーターによっては、DHCPによって割り振られるIPアドレスが頻繁に変わる場合があります。
- プロキシが設定されていると、アクセスできない場合があります。
- 本機側が動作中のときは、ネットdeナビが操作できても設定できない場合があります。
- メール予約設定は本機からも設定できます。詳しくは「メール予約設定」取扱説明書 [200](#) をご覧ください。

eメールで録画予約する

1 eメールの送信先(To:)を入力する

- 「メール録画予約機能の設定」**23**で設定した【メールアドレス】を入力してください。

2 eメールの本文に、録画予約の内容を入力する

open password prog add 20161217 1900 2000 D011-1 DR H1 EY M2S
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

- 文字はすべて半角で入力してください。また、それぞれの項目の間には、半角スペースを1つずつ入力してください。
- お使いのメールソフトウェアや携帯電話などに、録画予約メールの定型文を登録しておくとう便利です。

① open

予約メールの先頭に入れてください。

② メール予約パスワード

「メール録画予約機能の設定」**23**で設定したパスワードを入力してください。

③ 固定文字

「prog」と入力してください。

④ 本機の操作

予約登録：add

予約削除：del

予約確認：list

残量確認：remain

⑤ 録画日

西暦4けた(年) 01~12(月) 01~31(日)

⑥ 録画開始時刻(時)(分)

00~23(時) 00~59(分)

⑦ 録画終了時刻(時)(分)

00~23(時) 00~59(分)

⑧ 録画チャンネル

地上デジタル：DXXX-X

BSデジタル：BSXXX

CSデジタル：CSXXX

- 「XXX」はチャンネル番号です。地上デジタルの「-X」は枝番号です。枝番号があるときは、枝番号まで正しく指定してください。枝番号を指定しないと、意図しない放送が予約されることがあります。

⑨ 録画モード

録画モードを入力してください。

DR / AF / AN / AS / AL / AE / XP / SP / LP / EP

- 通常録画用USB-HDDに録画する場合は、DR~AEを入力してください。

⑩ 録画先

HDD：H1

USB-HDD：U1~U8

ブルーレイディスク：B1

⑪ 予約方法

番組表予約：EY

時刻指定予約：EN

- 番組表予約にすると、「⑥ 録画開始時刻(時)(分)」で入力した時刻に近い開始時刻の番組を録画予約します。
- 時刻指定予約にすると、「⑥ 録画開始時刻(時)(分)」と「⑦ 録画終了時刻(時)(分)」の時刻で録画予約します。

⑫ 毎週/毎日録画

毎日：EVERY

火~土：T2S

月~土：M2S

月~金：M2F

毎週日：SUN

毎週月：MON

毎週火：TUE

毎週水：WED

毎週木：THU

毎週金：FRI

毎週土：SAT

- 単体予約をするときは、入力しないでください。

- ⑨~⑫は省略可能です。省略した場合、それぞれの設定は以下になります。

⑨現在の録画機器の録画モード

⑩HDD

⑪EY

⑫単体予約

3 eメールを送信する



- アルファベットは大文字、小文字のどちらも使えます。
- 改行して2行目に予約名を入れることができます。
- お使いのメールソフトウェアによっては、1行目が長いと改行されてしまい、予約内容が正しく認識されないことがあります。

予約メールの受信

本機は、一定時間(【ネットdeナビ設定】の「POP3アクセス間隔」**23**で設定した時間)の間隔で、POPサーバーから予約メールを受信します。

録画予約完了メール

本機が予約メールを受信すると、録画予約の完了または録画予約の失敗の通知をメールで受信できます。以下の設定を行ってください。詳しくは、「メール録画予約機能の設定」**23**をご覧ください。

- 【メール通知機能】を「指定アドレスと送信元アドレスへ通知」、「送信元アドレスへ通知」または「指定アドレスへ通知」に設定する。
- 【メール通知機能】を「指定アドレスと送信元アドレスへ通知」または「指定アドレスへ通知」に設定した場合は、【メール通知用の指定アドレス】に録画予約完了メールを受け取るメールアドレスを入力する。
- 【失敗しそうな予約の通知】を【通知する】にすると、予約を失敗しそうなときにメールを受信できます。
- 【おまかせ自動録画の通知】を【通知する】にすると、「おまかせ自動録画」取扱説明書**91**を設定している場合に、自動で録画予約が追加されたときにメールを受信できます。

録画予約ができたときは

次のようなメールで、録画予約の内容が通知されます。以下は、DBR-E507の例です。

件名<SUBJECT> :
DBR-E507からのお知らせ

本文<BODY> :

メール予約を行いました。

◆ユーザー予約◆

録画日： 2016/12/17(土)

録画開始時刻： 19:00

録画終了時刻： 20:00

チャンネル： D011-1

録画モード： DR

予約ID 368

わくわく動物めぐり

mailto: メールアドレス(ネットde ナビ設定で設定したメールアドレス) ? subject =件名(〇〇の予約を削除します。)& body =open%20パスワード(ネットde ナビ設定で設定したパスワード)%20prog%20del%20予約ID(予約したID)

=====
=====
HDD残量

現在設定：(DR) 18時間48分
=====

- mailtoとは、かんたんに予約を削除するメールが作成できる機能です。録画予約を削除したい場合は、受け取った録画予約完了メール内の「mailto」部分をクリックすることで、その録画予約を削除するメールが作成されるので、そのままメールを送信してください。ただし、mailto機能に対応した携帯電話またはメールソフトウェアであることが必要です。

録画予約に失敗したときは

録画予約ができなかった理由が通知されます。



- 以下の場合、メールでの録画予約はできません。
 - 録画開始時刻が予約メールの受信時刻から15分以内のとき
 - 録画先がHDDまたは通常録画用USB-HDDの場合、15時間を超える録画時間に設定しているとき
 - 録画先がブルーレイディスクの場合、録画時間を8時間以上に設定しているとき
- 本機側でナビ画面などの表示中は、メールの送受信ができません。

eメールで録画予約の設定を確認する

eメールの本文を以下のように入力すると、録画予約の設定を確認できます。

open password prog list l d e5

↑ ↑ ↑
予約数
↑ ↑
詳細
表示レイアウト (ログ)



- 末尾の「表示レイアウト」と「詳細」、「予約数」は省略できます。
- 「l」(エル)を入力した場合は、1行表示が長く表示され、省略すると改行された短いリストが表示されます。
- 「d」を入力した場合は、「録画予約」の詳細が表示され、省略すると簡略されたリストが表示されます。
- 「e」を入力した場合は、「e」に続けて数値を入力することで、1回のメールで確認可能な予約(録画情報)数を指定できます。指定可能な数値は1~9です。ただし、情報量が多いときには、指定された数値より少ない予約数しか得られないことがあります。

eメールで残量を確認する




eメールの本文を以下のように入力すると、HDDの残量を確認できます。

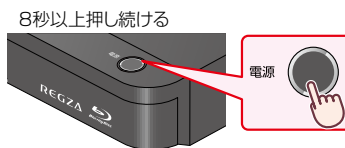
open password prog remain

↑
残量

商品のお問い合わせに関して

リモコンでも本機のボタンでも操作できなくなったときは、以下の操作をお試しください

- 1 リモコンの停止ボタン  を押しながらか本機の  を押して、電源を切る。しばらくたっても電源が切れない場合は、本機の  を8秒間以上押し続けて、電源を切る
- 2 電源プラグをコンセントから抜き、数分間待つ
- 3 電源プラグをコンセントに差し込む
- 4 電源を入れて、動作を確認する



※この操作をしても正常に動作しない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

基本的な取扱方法や故障と思われる場合のご確認

東芝ブルーレイ/DVD <レグザ> お客様サポートページをご覧ください
http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/cs/index.html



商品選びのご相談や、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

『東芝DVD インフォメーションセンター』

0120-96-3755

(携帯電話からの利用は)

ナビダイヤル (通話料：有料)

 0570-00-3755

※ 間違い電話が増えております。電話番号をよくお確かめのうえ、おかけいただきますようお願いいたします。

(PHSやIP電話からの利用は)

(通話料：有料)

 03-6830-1855

※ フリーダイヤルは携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

(FAX)

(有料)

 03-3258-0470

- ・「東芝DVD インフォメーションセンター」は東芝映像ソリューション株式会社が運営しております。
- ・お客様の個人情報は、当社の「個人情報保護規程」に従い適切な保護を実施しています。
- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する株式会社東芝を含む東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝ブルーレイディスクレコーダー/DVDレコーダー訪問サポート(有償)

以下のURLから有償訪問サポートの内容をご確認いただけます。お気軽にご連絡ください。

<http://www.qac.jp/toshiba/>

訪問サポートは委託協会のキューアンドエー株式会社がお伺いします。



愛情点検

長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検をぜひ！

ご使用の際このような症状はありませんか？

- ・再生しても音や映像が出ない。
- ・煙が出たり、異常なおいや音がする。
- ・水や異物がいっぱい。
- ・ディスクが傷ついたり、取り出しができない。
- ・電源コード、プラグが異常に熱くなる。
- ・その他の異常や故障がある。

ご使用中止

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険ですので、絶対に行わないでください。

©2016 Toshiba Visual Solutions Corporation
無断複製および転載を禁ず

東芝映像ソリューション株式会社

〒210-8543 神奈川県川崎市川崎区駅前本町25-1

※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

EAY19JL
★★★★